角野近喜助助ニ於テ演説会ヲ開キ来会者組合員四五〇名地方有志及農民約五〇名定刻鈴木梅次郎開会ノ辞ヲ述ベ順次各弁士ノ演説アリ午後五時十五分閉会ス。次イデ同日午後六時十分ヨリ新居浜町字東町天理教会ニ於テ演説会ヲ開催ス。

一、大正十四年二月十一日鉱業所ニ於テハ組合同盟ニ対抗スベク新居浜町大江座ニ於テ常会社仲（手人会）発会式ヲ挙ゲ之ニ組合側ノ切崩ヲ開始スルニ至レリ。

一、全年三月九日以来組合事務所ニ於テ理事会ヲ開催シ出席者木明武雄外五十名

1. 事務所移転ノ件（従来ノ事務所狭隘ノ為メ）

2. 鉱業所ノ組合切崩ニ対スル対抗策（上述脱会者ハ強イテ追ハズ現在ノ組合員ノ結束ヲ固メ益々発展ニ努ムル事

右鉱業所ノ暴虐ナル手段ニ対シテハ周密ナル注意ヲ払ヒ苟モ不都合ナル行為ニ対シテハ目的均於手段ノ詳細並ニ該事件ニ関スル証拠及其ノ結果ヲ即時本部ニ報告スル事）等ヲ協議ノ上決議シ午後五時散会ス。而シテ一月ハ脱会者防止ノ目的ヲ以テ時恰モ新田部落橋本捨三郎方ニ不幸アルヲ奇貨トシ悔ミナリト称シテ同所ニ集リシ鉱業所非組合側方面者ガ擁シ来リシ相方衝突シ格闘ヲ演ゼントスルニ至リタ（国貞外原ノ両者ヲ加ヘ九名ノ検挙ヲ見ルニ至リタ）

財団法人 協調会